

## 知る喜び

公園で時々珍しい花や植物を知ることがある。

そんな時は本当に嬉しい。

この年齢になっても、まだまだ判らないことだらけだ。

初夏のころ、サラセニアという食虫植物のある場所を教えてくださいました。

なぜ、こんな所に、こんな花が咲いているのか、不思議だった。

この花は北米当たりの湿地帯に生息するもので、首をかしげることしきり。

まず、普通の方は、足を踏み入れることのない場所。

これを発見した人に対し、敬服する思いです。

晩秋、タンキリマメを教えてくださいました。

まず、聴かなければ素通りするような、つる性の植物であった。

漢方薬にもなるそうで、種が2個さやにくっついているのが特徴的です。

また、今年初めて見つけ、知った植物は

あじさいの中に、クモの糸状のつるに白い実がぶら下がっているものです。この実はスズメウリといって、観葉植物だそうです。

なるほど、緑から白に変化して、なかなかの美しさがあります。

この様に新しい発見は喜びであり、日常生活の中で、目を輝かせるひと時でもあります。

公園で知り合った人々とのつながりの中で、教え合、喜びを共有する。人生楽しいですね。